

地域防災支援員の ＼ 今日からやろう / 防災力UP



むらやま りゅういち
村山 隆一

1964年3月生まれ、白糠町出身。
1982年5月、釧路西部消防組合消
防署に消防士として奉職。2022年
4月、釧路市西消防署白糠支署長に
就任。心理相談員や産業カウンセラ
ーなどの資格を所有。
好きな食べ物はカレーライス。

No.6 情報が命を救う

正しい情報の受け取り方と発信

▼津波警報に気づいていますか？

先日の「2025年カムチャツカ
半島地震」では、本町にも津波警報
が発表され、避難指示が出されまし
た。

しかし、「揺れを感じなかったか
ら気づかなかった」「放送が聞こえ
なかった」などの理由から、避難行
動が遅れたという声も聞こえてきま
した。地震がなくても、津波警報が
発表されることがあります。だから
こそ『情報に気づく力』と『すぐに
動ける意識』が命を守る力ギになり
ます。

▼白糠町の情報伝達手段は？

本町では、災害情報を町民一人一

人に届けるため、次の情報伝達手段
を整備しています。

- ・Jアラート(全国瞬時警報システム)
国民の生命を守るための緊急情報
を即時配信するシステムです。
- ・戸別受信機(防災ラジオ)
町内全戸に配布済み。正午と夕方
6時にチャイムが鳴るのは、動作
確認のためです。
- ・防災行政無線(屋外スピーカー)
テレビやラジオの緊急放送



【戸別受信機の確認を！】

定時放送時などに「放送が聞こえ
ない」「鳴らなかった」ということ

があれば、以下の確認をお願いしま
す。

- ✓本体の電源が入っているか
 - ✓アンテナが立っているか
 - ✓家の中で感度の良い「窓際」に設
置しているか
 - ✓電池切れや故障がないか
- これらに問題がなくても放送が入
らない場合は、必ず役場危機対策課
(☎2・2171 内線222)ま
でご連絡ください。



▼聞こえない・届かない…その時ど うする？

機器の不具合や状況により情報が
届かない場合も想定して、普段から
複数の手段で情報を得られるよう準
備をしておくことが大切です。

▼情報を『聞くだけ』で終わらせない

避難所にはラジオが備えられてい
ますが、全員に届くわけではありま
せん。だからこそ、自分から正確な
情報を受け取り、行動する意識が重
要です。

災害はいつ起こるか分かりません。だからこ
そ、「聞いていない」「知らなかった」をなく
す努力が必要です。防災の基本は『情報に気づ
くこと』です。そしてそれを『自分事として受
け止めること』が自分や家族を守る第一歩です。
戸別受信機の確認をはじめ、普段からアンテ
ナを張り、いざという時に備えましょう！

さらに…
・隣近所に声をかけて「情報を広げ
る」
・SNSなどで不確かな情報に振り
回されない
こうした行動が、地域全体の防災
力を高めることにつながります。

▼「情報」は、命を守るための最初
の『防災ツール』です
正しく受け取り、正しく動けるよ
うに、日頃からアンテナを高く保ち
ましょう。